

# 本多快眠堂

## SDGsの取組

取組・活動内容	<p>本多快眠堂では、国家資格寝具製作一級技能士による木綿ふとんの仕立て直し、羽毛ふとんのリフォームを通じて、大切な天然資源の再利用をして古くなった布団を蘇らせて、また使用すること薦めています。再利用することで「布団は直して使う」「使い捨てではない」というゴミを減らす活動にも繋がっています。また、ベッドマット販売では、環境に配慮した「スプリング・ゼロ」「プラスチック・ゼロ」「有毒ガス・ゼロ」のマットを取り扱い、環境に優しい商品の販売を推進し、同時に睡眠改善インストラクターによる睡眠相談を実施。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 1 2	「布団は使い捨てから直して使う物」ということを消費者に積極的に告知活動。	2025年までに年3回、広告媒体に継続告知。
	社会 3	すべての人に心と身体の健康を保つために、睡眠の大切さを知っていただく。	睡眠改善インストラクターによる無料睡眠相談を2025年までに延べ利用者数300人。
環境 1 2・1 3・1 4	再利用可能な羽毛ふとんの回収。プラスチック包装の削減。	自社・他社製品問わず、2025年までに500枚の羽毛ふとんを回収・リサイクル。2025年までにダイレクトメールOPP袋を紙製封筒へと100%変更。	